

大変お世話になっております。国際公共調達情報プラットフォームの事務局です。

昨年度に引き続き、厚生労働省 医政局総務課 医療国際展開推進室からの、「調達有望製品カタログ」掲載の新規応募を行いますため、こちらをご案内申し上げます。

また、昨年度カタログに掲載された医薬品・医療機器に関する情報の更新のご案内も差し上げておりますため、カタログに掲載実績のある企業のご担当におかれても下記お目通しをなにとぞお願い申し上げます。

厚生労働省同室では、グローバルヘルスに貢献する日本の医薬品・医療機器を国際公共調達への参入が有望な製品として「調達有望製品カタログ」に取りまとめ、下記の場面等で活用することで、国際調達における日本製品の更なる充実を図ることをねらいとしております。

なお、医薬品については、医療機器と比べて昨年度のカタログの掲載実績が少なかったことから、医薬品の応募についても特にお待ちしております。

今年度は、国際展示会（AidEx）での国際機関等への本カタログの提供に加えて、ジュネーブのグローバルヘルスキャンパス（GHC）内で国際保健機関等向けに本事業及び日本の医薬品・医療機器の紹介をセミナー形式で実施することを予定しておりますが、その場においても本カタログの配布を予定しております。

また、昨年度は本事業のウェブサイト（国際公共調達情報プラットフォーム）におけるカタログの掲載を実施していませんでしたが、同サイトでの掲載要望が掲載企業から複数寄せられたことを踏まえて、今年度は同サイトでの掲載を予定しております。

なお、本事業ウェブサイトでの掲載にあたって、掲載を見合わせたい項目がある場合、その内容の確認を本年 11 月目途に実施させて頂き、本年中に同サイトでの掲載を予定しております。

■想定される活用方法：

- ・国際機関・在外公館への配布、国際展示会での配布
- ・国際機関による国際公共調達案件形成や ODA 案件形成時の参考資料
- ・国際機関向けセミナーでの配布
- ・（ウェブサイト掲載版の作成後）本事業のウェブサイト（国際公共調達情報プラットフォーム）での掲載

昨年度と同様、WHO 推奨機器要覧（Compendium）を参考に、各医薬品・医療機器 A

4・2枚で、英語及び日本語で作成することを予定しております。

【ご参考】WHO 推奨機器要覧（Compendium 2024）：
<https://www.who.int/publications/i/item/9789240095212>

応募要件は、次の2点です。

■新規応募要件：

①薬事の条件：WHO 事前認証/推奨を取得あるいは厳格な規制当局（SRA：Stringent Regulatory Authority）の承認を取得済みであること（ただし、薬事的な認証が不要な製品・ソリューションは除く）

②低中所得国での導入実績があること

なお、上記2点に該当する製品である限り、同一社から複数の製品について応募を頂いてもかまいません。

掲載文については、添付の「記入フォーマット」に基づき、応募企業に記入頂きます。添付フォーマットの記入情報をもとに、厚生労働省が掲載製品の選定を実施します。

ただし、新規応募時には、応募企業のご負担軽減を鑑みて、添付フォーマットの下記の情報（①④⑥⑩⑪⑫）のみご記入頂ければ結構です。

■新規応募時に必要な情報：

①製品名

④カテゴリー（医療機器、医薬品、eHealth等）

⑥対象とする健康課題と製品概要

⑩薬事承認状況（ただし、薬事承認が必要な製品ではない場合は不要）

⑪国際公共調達実績

⑫低中所得国での導入事例（この時点では写真不要）

上記の情報をもとに厚生労働省が選定を行い、掲載が決定した製品については、残りの情報をご記入頂くことを想定しております。

掲載する製品の選定が決まった後、新規応募企業には、該当する製品の残りの情報をご記入頂きます。その際、必要に応じて選定の際の厚生労働省からの指摘の反映をお願いさせていただきます。

カタログとして公開が難しい情報は、項目によっては、企業の問い合わせ先に照会して情報提供をいただく等の対応も検討可能ですので、選定後ご相談いただけますと幸いです。ただし、カタログに掲載する情報が過度に少ない場合は、掲載を見送らせていただくことがありますのでご了承ください。

その後、カタログのデザインに収まるための文字数等の観点から、事務局が文案の調整及び英訳を実施致します。

デザインのイメージについては、添付の PDF ファイルをご参照ください。（昨年度のカタログから、掲載項目はそのままに、実際の掲載製品の文章・写真を消したものを提示しております）

そして、調整後の文案（日本語・英語）を応募企業にご確認頂き、最終調整の後、本年 10 月初旬での完成を目指します。

以降、カタログの活用先として、本年 10 月 23 日、24 日に開催予定の国際展示会「AidEx2024」及び、10 月 22 日に実施予定のグローバルヘルスキャンパスでの本事業に関する国際機関向けセミナーにおいて国際機関関係者等に配布するほか、今年度内に在外公館や国際機関に提供予定です。

■昨年度カタログの掲載企業による情報更新：

昨年度カタログに医薬品・医療機器を掲載した企業のご担当におかれては、お手元の「調達有望製品カタログ」（英語）をもとに、更新内容をお知らせ頂くこととなります。色分けや履歴などで更新部分が事務局に分かるように、更新部分について元の Word ファイルを直接上書きしていただき、公募〆切の 8 月 23 日までに事務局まで該当する貴社医薬品・医療機器のページをそのまま Word 形式でお送りください。

また、なんらかの理由で掲載を取り下げる場合は、その旨をお知らせください。情報更新が特にならない場合、念のためご連絡頂ければ幸いです。ご連絡がない場合、昨年度と同様の内容での掲載を予定しております。

なお、追加で貴社医薬品・医療機器の掲載を希望される場合は、新規応募と同様のスケジュール及びフォーマットを活用の上、ご応募お願い申し上げます。

■今後のスケジュール（予定）：

本公募案内からカタログの完成まで、下記のスケジュールを想定しております。

8月 6日～8月23日：掲載製品の新規応募及び情報更新
8月26日～8月30日：掲載製品の選定
9月 2日～9月13日：新規応募企業による掲載製品に関する残りの情報の記入
9月16日～9月20日：事務局による文案（日本語）の調整
9月23日～9月27日：事務局による文案（英語）の作成
9月30日～10月4日：応募企業による文案（日本語・英語）のチェック
10月7日～：取りまとめ、全体調整→公開、配布（当面の目標として10月22日のグローバルヘルスキャンパス内でのセミナー、23日、24日開催の「AidEx2024」において配布する）
11月以降：本事業のウェブサイト（国際公共調達プラットフォーム）での掲載にあたり、掲載企業側でウェブサイトでの公開を見合わせたい項目がある場合、その内容を確認し修正後、公開準備を進めるやり取りをさせて頂く予定です。

新規応募される企業は、添付の記入フォーマット及び記入例をもとに、「8月23日（金）」までに事務局（ipp@nri.co.jp）へ掲載希望の医薬品・医療機器の情報をお送りください。

昨年度掲載医薬品・医療機器の情報更新をされる企業におかれても、更新後の Word ファイルを「8月23日（金）」までに事務局（ipp@nri.co.jp）へお送りください。更新がない場合や、掲載取りやめの場合も同日までに事務局までお知らせください。

皆さまのご応募及び情報更新をお待ちしております。

お問い合わせ先：株式会社野村総合研究所内 国際公共調達プラットフォーム事務局
Email: ipp@nri.co.jp （窓口担当：小池）

本メールマガジンのバックナンバーは次のサイトよりご確認ください。
https://ippip.jp/content_7.html

配信停止をご希望される場合は、お手数ですが「配信停止希望」と件名に入力の上、事務局（ipp@nri.co.jp）までご連絡をお願い申し上げます。

本事業は「令和4年度開始厚生労働省委託事業」に基づいて実施しております。

このメールには、本来の宛先の方のみに限定された機密情報が含まれている
場合がございます。お心あたりのない場合は、送信者にご連絡のうえ、
このメールを削除してくださいようお願い申し上げます。

PLEASE READ: This e-mail is confidential and intended for the named recipient only.
If you are not an intended recipient, please notify the sender and delete this e-mail.